

「蛇のように賢く鳩のように素直に。」マタイ福音書 10 章 11～16 節

クリニックでは、AI による発達障害の治療の案内を準備しています。発想としては、今までの仕事や段取りの手順とは全く異なっているもので、良い経験です。

AI（人工知能）とは、Artificial Intelligence の略で、コンピュータが人間のように学習、推論、判断、認識、言語処理などの知的なタスクを実行する技術やシステム全般のことです。AI による案内とは、人工知能を活用して、利用者に対し情報提供や案内、質問への回答などを自動で行うサービスのことです。従来のシステムとは異なり、自然言語処理 (NLP) などの技術を用いることで、人間のような自然な対話やきめ細やかな対応を実現しています。AI の準備をしている中で、多くの人の仕事は AI に任せただけで早くて合理的であり、人の個性や性格による変更がなくて、優秀だと思われました。そのようにして、今後は AI によって多くの仕事が奪われていき、人間の仕事は減っていくでしょう。

ところが、現実には、フェイスブックやユーチューブ、ニュースなどに AI を用いた偽りの画像や情報が盛沢山になっています。ある人物を中傷する偽情報や、株や品物の偽情報を流して購入をさせることもあります。最近では、私の名前とメールアドレスを偽って用いて、ラインに入らせようとする命令も出ています。ラインに加入すると、その人の情報が漏れてしまうので、商業的なライン勧誘には入らない方が良いでしょう。5 年位前には、私の名前で金を貸してくれというメールが多くの人に届きましたが、「柏崎が金に窮することはないだろう。」と信用されなかったようです。大事なことは判断力ですね。

このように AI によって仕事が奪われ、AI によって騙される時代が既に来ています。更に、「戦争や戦争のうわさ」(マタイ 24・9)、「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起きます。」(同 2)。「そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。」(同 10-12)。

戦後の日本を支えてきた中産階級は崩壊し、富める者と貧しい者との隔たりが大きくなり、社会は不穏になり、犯罪が増えます。

医療制度の中から、高齢者医療を別枠にし、更に後期高齢者医療制度を設けたのは、金の掛かる高齢者医療の自己負担を多くするためです。

少子高齢化により、年金原資が減り、年金財政は厳しくなるので、間違いなく年金収入は減っていきます。

日本人の特徴は、「真面目、謙虚、我慢強い、勤勉、協調性がある」といったものでしたが、それも通らなくなりました。

さて、「蛇のように賢く」とイエス様が私たちに諭しました。多くの人が蛇の見た目を嫌います。「蛇は、神である主が造られた野の生き物のうちで、他のどれよりも賢かった。」(創世記 3・1)。大事なことは蛇が最も賢かったことです。蛇は、自分よりも強いものとは争わずに逃げていきます。私は動物の生きようとする力、本能に感心します。

私は、「最も高くつくのは見栄です。」と言いますが、言い換えれば自我です。我が強いので失敗するのです。そもそも、AI によって奪われるような仕事をしているのは、失敗を恐れ他の人がしているようなことをしようとするからです。「賢く」とは、知恵です。知恵の要らないような仕事は AI に代えられます。しかし、「神の知恵により、この世は自分の知恵によって神を知ることがありませんでした。」(1 コリ 1・21)。知恵に先走る者は、知恵に左右されることによって身を滅ぼします。

「鳩のように素直に」とはどういうことでしょうか。鳩は雑食性でなんでも食べます。群れをなして仲良く過ごし、帰巢本能が強いので伝書鳩などにも利用されます。鳩は警戒心はあまりなく捕まりやすいです。政治的には「ハト派」は穏健な考えを持つ平和愛好者とされ、「タカ派」と区別されます。

欲望の強い人は、欲に惑わされて失敗します。「この世の取るに足りない者や見下されている者、すなわち無に等しい者を神は選ばれたのです。」(1 コリント 1・28)とありますが、自らを「無に等しい者」と委ねることこそ、信仰の奥義であると思います。

終末の様相は、聖書に預言されています。「祝福を得よう、豊かに暮らそう、成功しよう」などの願望は、主イエスが栄光を持って来臨され、神の国に私たちを携え上げてくださる望みに比べれば取るに足りません。私には、自らの繁栄を願って身を亡ぼす人が増えているように思えます。「十字架のことは、救われる私たちには神の力です。」(同 18)。

「蛇のように賢く」とは、見栄によって表立って戦わず、状況をわきまえて身を滅ばさないことです。「鳩のように素直に」とは、仲良く過ごして何でも食べ、人とは争わず、神に委ねて生きることです。そして、神の国を待ち望みましょう。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讃美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讃美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

マタイ 10:11 どの町や村に入っても、そこでだれがふさわしい人かをよく調べ、そこを立ち去るまで、その人のところにとどまりなさい。

10:12 その家に入るときには、平安を祈るあいさつをなさい。

10:13 その家がそれにふさわしければ、あなたがたの祈る平安がその家に来るようにし、ふさわしくなければ、その平安があなたがたのところに返って来るようにしなさい。

10:14 だれかがあなたがたを受け入れず、あなたがたのことばに耳を傾けないなら、その家や町を出て行くときに足のちりを払い落とすなさい。

10:15 まことに、あなたがたに言います。さばきの日には、ソドムとゴモラの地のほうが、その町よりもさばきに耐えやすいのです。

10:16 いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。

Mat10:11 "Now whatever city or town you enter, inquire who in it is worthy, and stay there till you go out.

10:12 "And when you go into a household, greet it.

10:13 "If the household is worthy, let your peace come upon it. But if it is not worthy, let your peace return to you.

10:14 "And whoever will not receive you nor hear your words, when you depart from that house or city, shake off the dust from your feet.

10:15 "Assuredly, I say to you, it will be more tolerable for the land of Sodom and Gomorrah in the day of judgment than for that city!

10:16 "Behold, I send you out as sheep in the midst of wolves. Therefore be wise as serpents and harmless as doves.